



## Press Release

2025年2月12日

報道関係各位

本資料は、ルンドベック（デンマーク・コペンハーゲン）が2025年2月5日（現地時間）に発表したものを日本語に翻訳したものであり、日本では未承認の製品が含まれます。資料の内容および解釈については英文オリジナルが優先されます。英文オリジナルは、[Lundbeck reached record revenue of DKK 22 billion in 2024 with accelerated growth for strategic brands \(+21% CER\) - H. Lundbeck A/S](#) をご参照ください。

### ルンドベック、戦略製品の成長加速により、2024年に過去最高の売上高 220 億デンマーク・クローネを達成（CER ベース 21%増）

#### 主なハイライト

ルンドベックの2024年の売上高は、全地域の成長により、CER<sup>1</sup> ベースで 14%増（DKK11%増）の 220 億 400 万デンマーク・クローネ（以下 DKK）に達しました。

- 米国：113 億 2,500 万 DKK（CER ベース 16%増、DKK15%増）
- 欧州：51 億 4,600 万 DKK（CER ベース 13%増、DKK11%増）
- インターナショナルオペレーション：52 億 1,900 万 DKK（CER ベース 10%増、DKK5%増）

ルンドベックの戦略製品の売上高は前年比 CER ベース 21%増（DKK20%増）の 164 億 6,200 万 DKK に達し、総売上の 75%を占め、4 製品すべてが CER および報告ベースともに 2 桁の成長率を示しました。

- Rexulti<sup>®</sup>/Rxulti<sup>®</sup>: 52 億 200 万 DKK (CER ベース 16%増、DKK15%増)
- Brintellix<sup>®</sup>/Trintellix<sup>®</sup>（トリンテリックス<sup>®</sup>）: 48 億 4,700 万 DKK (CER ベース 14%増、DKK12%増)
- Abilify LAI franchise<sup>2</sup>: 35 億 400 万 DKK（CER ベース 10%増、DKK10%増）
- Vyepti<sup>®</sup>: 29 億 900 万 DKK（CER ベース 72%増、DKK71%増）

調整後 EBITDA<sup>3</sup> は、63 億 4,700 万 DKK（CER ベース 20%増、DKK12%増）に達し、すべての戦略製品における力強い収益成長を反映しています。調整後 EBITDA マージン（DKK）は 28.8%に達し、0.4%ポイント増加しました。これは収益成長の恩恵を受けつつも、成熟しつつあるパイプラインへの研究開発投資の増加によって相殺されています。EBITDA は 51 億 4,600 万 DKK（CER ベース 7%増、DKK1%減）に減少しましたが、これは Longboard 社の買収・統合費用 4 億 2,000 万 DKK および研究開発費における MAGLi プロジェクトの減損損失 5 億 4,700 万 DKK が影響を及ぼしたためです。なお、2023 年には Vyepti<sup>®</sup>の陳腐化引当金が含まれていました。

2025 年の収益成長は、CER ベースで 7%～10%の増収が見込まれています。この成長は、特に米国での Vyepti および Rexulti、欧州の Brintellix の力強い成長を反映しています。ルンドベックは、前年度の調整後 EBITDA と比較して CER ベースで 5%から 11%の調整後 EBITDA 成長になると予想しています。この成長は、収益の増加によって推進され、一部は研究開発投資の増加によって相殺されます。研究開発費の大幅な増加は、bexicaserin の第 III 相試験への投資と

ンドベックの研究開発パイプラインのさらなる成熟によるものですが、厳格な資本再配分の取り組みによって完全に吸収されます。

当社の配当方針に基づき、1 株当たり 0.95DKK、9 億 4,600 万 DKK の配当を提案します。

**ルンドベックの President 兼 CEO であるシャル・ファン・ジルは次のように述べています。**

「2024 年はすべての戦略製品における加速度的な成長により過去最高の売上高を達成し、2025 年に向けて力強い見通しを発表できることを嬉しく思います。戦略製品の成長と厳格な資本再配分を組み合わせることで、当社のパイプラインへの追加投資を促進しています。2024 年第 4 四半期に完了した Longboard 社の買収により取得したベスト・イン・クラスのアセットとなる可能性のある bexicaserin を含め、2026 年までに 4 つのプロジェクトが第 III 相試験に入る見込みです。ルンドベックは、引き続き Focused Innovator 戦略を実行し、長期的な成長を実現するための強力な体制を整えていきます。」

## 主な指標

単位百万DKK	2024年	2023年	成長率 (CER) <sup>1</sup>	成長率 (DKK)	2024年 第4四半期	2023年 第4四半期	成長率 (CER) <sup>1</sup>	成長率 (DKK)
売上高	22,004	19,912	14%	11%	5,541	4,978	16%	11%
EBITDA	5,146	5,207	7%	-1%	651	744	12%	-13%
調整後EBITDA	6,347	5,652	20%	12%	1,151	793	75%	45%
1株当たりの利益 (DKK)	3.17	2.31		37%	0.60	0.14		329%
調整後1株当たりの 利益(DKK)	5.31	4.22		26%	1.36	0.58		134%

1. CER は、以前は現地通貨ベース(LC)。CER による変動にはヘッジによる影響は含まれません。
2. Abilify long-acting injection (LAI) franchise は以下の製品で構成されています： Abilify Maintena®, Abilify Maintena® 960 mg and Abilify Asimtufii®
3. EBITDA とは、金利・税金・減価償却前利益のこと。調整後 EBITDA は、特定の項目で調整した EBITDA と定義しています。詳細は原文リリースの「4 注記事項」の「注 1 調整後 EBITDA」を参照してください。

## 最近のイベント

2025 年 1 月 30 日、ルンドベックは、12～65 歳の発達性てんかん性脳症（DEEs）患者を対象とした bexicaserin を評価した第 1b/2a 相 PACIFIC 試験の Open-Label Extension（OLE：非盲検継続）で 12 か月間の良好な結果を発表しました。Bexicaserin は、12 か月間の OLE 投与間中、計測可能な運動発作において 59.3%の発作減少（中央値）を達成しました。bexicaserin による治験は良好な安全性と忍容性を示し、多くの被験者 12 か月の OLE 期間を完了しました。

2025 年 1 月 9 日、ルンドベックは、米国食品医薬品局（FDA）が、成人の心的外傷後ストレス障害（PTSD）治療薬としてのブレクスピプラゾールとセルトラリンの併用療法の効能追加申請（sNDA）に関し意見を求めるため、精神薬理学

諮問委員会（Psychopharmacologic Drugs Advisory Committee：PDAC）を開催する予定であるという連絡を受けたことを発表しました。FDA による PDAC の開催は、承認の最終判断を決めるものではありません。PDAC の開催日程はまだ決定されていませんが、現在のところ 2025 年前半に開催されると想定しています。これにより本剤の審査終了目標日（PDUFA date）は 2025 年 2 月 8 日に設定されていましたが、審査終了日が PDAC 後に延期されることになります。

ルンドベックは、2024 年 12 月 5 日に発表しました通り、米国ロサンゼルスで開催された米国てんかん学会（AES）年次総会において、発達性てんかん脳症（DEEs）における bexicaserin の可能性を示す複数のポスター発表で科学的データを示しました。

2024 年 12 月 3 日、ルンドベックは RESOLUTION 試験の良好な結果を発表しました。本試験は、慢性片頭痛（CM）と薬物乱用性頭痛（MOH）の二つの診断がされた 608 人の患者を無作為化し、Vyepiti 100mg またはプラセボのいずれかの点滴静注投与を受けました。RESOLUTION 試験では、片頭痛予防のための簡単な教育的介入に追加する形で、Vyepiti®のプラセボに対する有効性が評価されました。

2024 年 12 月 2 日、ルンドベックは先に発表した Longboard Pharmaceuticals Inc.（以下、Longboard）の全発行済み株式の買収が成功裏に完了したことを発表しました。買収完了に伴い、Longboard の株式は NASDAQ Global Market での取引を停止し、Longboard はルンドベックの完全子会社となりました。Longboard の買収はルンドベックの戦略的マイルストーンであり、当社の Focused Innovator 戦略を強化・補完し、ニューロ・レア疾患領域の構築という目標を前進させるものです。

2024 年 11 月 27 日、ルンドベックは多系統萎縮症（MSA）治療における amlenetug（Lu AF82422）の臨床開発を進め、無作為化二重盲検第 III 相 MASCOT 試験を開始したことを発表しました。本試験は、主要評価項目が統計学的な有意性を示さなかったにもかかわらず、amlenetug が多系統萎縮症患者の臨床的進行を遅らせるという一貫した傾向を示した第 II 相 AMULET 試験の有望な結果と規制当局との協議に基づいています。

#### <将来予測に関する記述>

本リリースには、新製品の導入、製品の承認、財務実績など、将来の出来事に関する当社の予想または予測を提供する、将来の見通しに関する記述が含まれています。将来の見通しに関する記述には、将来の結果、業績または成果を予測、予想、示唆または暗示するあらゆる記述が含まれ、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」またはそのような言葉の変形や類似の意味を持つ他の言葉が含まれますが、これらに限定されるものではありません。本リリースに含まれる過去の事実に関する記述以外のすべての記述（当社の財政状態、事業戦略、将来の事業運営に関する経営陣の計画および目標（当社製品に関する開発計画および目標を含むがこれらに限定されない））は、将来の見通しに関する記述です。

このような将来の見通しに関する記述には、既知および未知のリスク、不確実性、およびその他の要因が含まれており、当社の実際の結果、業績、または実績が、このような将来の見通しに関する記述によって明示または暗示される将来の結果、業績、または実績と大きく異なる可能性があります。将来の業績に影響を与える可能性のある要因には、金利や為替レートの変動、開発プロジェクトの遅延や失敗、生産や流通の問題、予期せぬ契約違反や解除、ルンドベック製品に対する当局の決定や市場情勢による価格低下、競合製品の導入、ルンドベックが新製品や既存製品の商業的成功、製造物責任やその他の訴訟へのリスク、償還規則や法律および関連する解釈の変更、コストや経費の予期せぬ増加などが含まれます。

本リリースおよび Lundbeck を代表して行われた口頭発表における将来の見通しに関する記述は、本リリースの日付時点のものです。Lundbeck は、適用される法律または適用される証券取引所の規則によって義務付けられている場合を除き、本リリースまたは Lundbeck を代表して行われた口頭発表における今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。

### < Lundbeck (H.Lundbeck A/S) について >

Lundbeck は、脳の健康に特化したバイオ医薬品会社です。70 年以上の神経科学の経を持ち、神経疾患や精神疾患を患う人々の生活を改善することに尽力しています。

脳の障害は世界中の多くの人々に影響を与え、その影響は社会全体に及びます。脳の生物学に関する理解が急速に進む中、私たちは新しい治療の機会を探求し、脳の健康を向上させる責任を果たしています。

私たちは、Focused Innovator として、最も複雑な神経学的課題に取り組むための研究開発プログラムに注力しています。精神医学と神経学の強力な基盤の上に、治療法がほとんどない、または全くない人々を対象とした革新的な医薬品を開発し、ニューロスペシャリティやニューロレアの分野に拡大しています。

私たちはスティグマと闘い、健康における公平性を改善するために行動しています。患者さん、そのご家族、そして社会全体に対して貢献することで、株主に長期的な価値を提供することを目指しています。

Lundbeck は、50 か国以上で約 5,500 人の従業員を擁し、製品は 80 か国以上で販売されています。詳細については、[www.lundbeck.com](http://www.lundbeck.com) または LinkedIn をご覧ください。

### < Lundbeck Japan について >

Lundbeck Japan は、2001 年に日本法人を設立、2019 年にコマーシャル本部を構築し営業活動を開始いたしました。精神・神経疾患領域に特化した製薬企業として、グローバルで蓄積した豊富な知識と知見をもとに、日本においても患者さんの治療向上とより良い生活に貢献するために取り組んでいます。Lundbeck Japan に関する詳しい情報は、[www.lundbeck.co.jp](http://www.lundbeck.co.jp) をご覧ください。

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

Lundbeck Japan 株式会社 コミュニケーション & パブリックアフェアーズ 岡 幸恵

Email: [yuok@lundbeck.com](mailto:yuok@lundbeck.com) Tel: 070-7538-5301 Fax: 03-5733-8691